

## 番町地区タウンミーティング(要約)

平成26年2月2日(日曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。今日は休日の昼間で、本来だったらおくつろぎの方が多かったかと思いますが、このようにご参加をいただきましてありがとうございます。この番町地区のタウンミーティングの開催にあたりましては番町公民館の館長をはじめ、関係の役員の皆様にはお力添えいただきました。ありがとうございました。1巡目のタウンミーティングをさせていただいて、今、松山市では各地区で2巡目のタウンミーティングをさせていただいております。私が就任させていただいてから、このタウンミーティングを始めさせていただきました。松山と旧の北条市、旧の中島町を全部合わせて41地区あります。それぞれの地区でやっぱり課題があったり、また魅力があったりお困りの点もあると思います。市役所で待っているのではなくて、こちらから各地区に出向かせていただいて、そしてお困りの点など聞かせていただく、また魅力も聞かせていただく、そしてできることから市政に反映するという思いで、このタウンミーティングを続けさせていただいています。1巡目が終わって2巡目の41地区のうち、今日が19地区目になります。例えばですけども、聞きっぱなしとかやりっぱなしのタウンミーティングではありません。松山市版のタウンミーティングは皆さんからご質問をいただいて、ここで答えられることはできるだけお答えをして帰る。そしてここで答えられない、例えば財政的な問題があるとか国と絡む案件とか県と絡む案件などは、いったん持ち帰らせていただいて1カ月を目途に必ずお返事をするということになっております。聞きっぱなしにする、やりっぱなしにするタウンミーティングだったら、それは私はやらない。ただのガス抜きとかパフォーマンスのためだったら1巡で終わっていたかもしれないですけども、私はとにかく行政と皆さんとの距離をもっと近くしたいんです。そういう思いでこのタウンミーティング重ねさせていただいておりますが、今回2回目になります。どうぞ番町地区ならではの困りの点とか、課題など教えていただけたらと思います。また、今日は番町小学校の皆さんも来られていまして、東中の子たちも来る予定になっていたみたいですけど、インフルエンザが流行しているということでご欠席ですけども、番町小学校でこれまでお話したことありますが、私も番町にゆかりがありまして、皆さんはもう知らないと思うけど、番町小学校の門を出た愛媛信用金庫くらいのところには、昔、番町幼稚園がありまして、おじさんはその出身者です。番町幼稚園は今、郊外へ移りましたが、そして私の妻は番町小学校の入学・卒業、城東

中学校に行って、今、城東中学校は二の丸史跡庭園になっているのでないですけども、その後東中に進んでという番町ゆかりです。今日どんな話題が出るかなと思って楽しみにしてまいりましたけども、あんまり肩ひじ張ってやっていると、さすがに90分疲れてしまいますから、あまり肩ひじ張らずにざっくばらんに前向きな話ができればと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 お世話になります。私の個人的な意見でございますけども、御存じのように商店街周辺には新しいマンションもたくさん建ちまして、居住人口がだんだん増えているわけです。これからますますその傾向が強くなると思うんですが、そうしますと街中でのひとつのライフスタイルといましようか、地域の居住者の生活のスタイルが以前とは変わってくると思うんです。それは従来のまちですと、受け入れ体制があまり進展しておりませんので、それをどう考えるかでございます。私が提案したいのは、例えば大街道、銀天街、両方ございますけども、道路幅とか色んなことによって条件が違うわけです。それで大街道ですけども、大街道の道路は幅が15メートルの500メートルほどあります。大体7,500平米ぐらいはあるんです。これは今まで、ずっと長年一つの道路として管理され、使用してきたわけでございますけども、これを思い切って道路を廃道にしまして公園にすると。これは全国に、国土交通省のデータ見ますと20件近く廃道の事例があるようでございますけども、私が申し上げたいのは、ただ公園にしてというのが漠然としておるようでございますけども、指定そのものを道路ではなくて公園にして、その使用は特別に条例化をして管理をどうするかと。今までと使用について極端に違うわけではないんですけども、道路指定を解除して公園化することによって、色んな使い方が変わってくる、非常に範囲も広くなるし使い勝手もよくなるというところで、後の議論になるでしょうけども、使うにあたっては条例化によって、この地域の使用についてはどこかに移管する。例えば地元なら地元の商店街とかまちづくり会社とかに移管して、そこで責任を持って条例化のしばりの中で運営管理をしていくことになれば、もっと前進するのではないだろうか。そして最初に申し上げましたように、地域住民が増えておりますから、公園というと以前のイメージですと、堀之内公園とか石手川というイメージがあるんですけども、これから先の社会では本当の街中の公園化が、発想としては大変大事ではないだろうかと思うわけです。これは、やり方によっては可能だと思いますし、資金もそんなにかかりませんし、特に大工事をせないかんことじゃありませんので、ちょっと視点を変えれば、全く違った新しいまちが創造されていくし、全国的にもこの活用

は初のケースで大変注目されるようなことにもなるのではないだろうかということでございます。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。都市整備部都市政策課の松本と申します。まず、ご意見の趣旨は、大街道の活性化を趣旨としたご意見のようにお伺いしました。現在、大街道は市道で、道路管理課が管理しております。イベントの件が出ましたけれども、大街道においてイベントは道路管理課と地元の商店街の方とも協議ができておりまして、申込み等いただいたうえで、大街道でイベントができるということで、御存じのとおり色々なイベントをさせていただいております。マンションが増えているという件につきましても、この番町地区だけでなく味酒地区でもかなりマンションが建って、住民の方が増えてきております。これからは少子高齢化の中で、郊外ではなくて街中でスーパーや病院あるいは市役所等の公共施設が近くにあるところで生活をしていただくという、いわゆるコンパクトシティを目指して松山市も進めております。公園化はなかなか難しいところではありますが、まちの活性化では道路の指定はしておりますけれども、色々なイベントもできるような形で松山市としても活性化につなげてまいりたいと考えております。

【市長】 おっしゃってくださったように、全国で例はないと思うんですけども、例がないからできないじゃなくて、松山が初めてになってもいいと思いますので、そうすると例えば特区とかいう話にもなるんだと思うんですが、研究をさせていただいたらと思います。まずは研究をさせていただきます。よろしく願います。ありがとうございます。

【男性】 まず、今年のイルミネーションで、木の枝を切ってしまうと棒が光つとるような感じになっただけですけど、あれはもうちょっとイチョウのお掃除とか管理がめんどいかもしれませんが、やっぱりある程度枝がほしいかなと。それとイルミネーションの期間を半分にしても、もうちょっときれいとかデラックスとかそういう形にしたほうがいいんじゃないかと。もう年末過ぎたらお客さんおらんでしょう。それと、屋台とか車で来てやっていますけど、規制されとるんか数件ですよ。あれをもうちょっと増やしてもろたらと思います。そしてもう一つ、花園町はトイレがないんです。商店街のお店を開けるところへ「すみません」って子ども置いていてトイレに行って出てきて「ありがとう」言うて帰ってしまう。何とか仮設トイレでもええからつくってもらいたいと思います。

【市長】 花園町のことについていただきましたが、枝のことについて私から申し上げます。花園町のイチョウは、新聞にも出ましたが強剪定といまして、強い剪定をやりすぎちゃったんです。花園町は、これから歩い

て楽しいまちづくり、そして自転車にも配慮したまちづくり、歩いて健康になっていただくという意味で、高齢化にも配慮したいと。車の交通量も減っているので車線をもう少し、右折レーンにも配慮しながら、もうちょっと歩く人、そして自転車の人にも配慮したまちづくりを。公共交通がある松山だから。そして花園町だけの話じゃなくて堀之内、花園町、まつちかタウン、銀天街、大街道、ロープウェー街、平和通り、ひめぎんホールの東側の俳句の道、にぎたつの道、道後商店街、中心商店街を大事に考えていくという思いの中で、ちょっと堀之内から市駅の間で寂しい状況になってきた。アーケードも大分古くなってきている。そしてNTTの電線の地中化工事も迫っているので、そういったことから花園町の改編をということでやっていたわけです。花園町だけに限ったわけではないです。戦災復興の意味合いもありまして、イチョウ並木は整備されたと伺っているんですけども、確かに伊予鉄道からすると、イチョウの葉っぱは線路に落ちると油分をかなり含んでいるので滑りやすい、危険であるということで、私が就任させていただいてからは、シルバー人材センターにきれいに掃除してもらって、平和通りのイチョウも掃除してもらって、朝早くにとという形で、イチョウをできるだけ少なくということだったんですけども、ちょっとあれは切りすぎだな。今、緑に関することは樹木医の先生にも入っていただいて、さまざまやっていますけども、あれはちょっと切りすぎだなと。私もちょっとやりすぎじゃないですかと、もうちょっと相談してくれたらよかったのに。私はこのイチョウは大事だと思っているんだからという話をさせていただいたところです。ですので、過剰にやっちゃったのかなというところがあります。イチョウの枝はそういった状況です。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部都市ブランド戦略課の矢野と申します。よろしくお願いたします。ご意見の趣旨はイルミネーションの期間、そして屋台の数、トイレの設置のあり方というご意見だったと思います。花園町の商店街の皆様あるいは市民の皆様のさまざまなご意見の中で、よりよき方向を考えて、これじゃないといかんというよりは、いろいろな意見の中で意見を吸収させていただきながら、いい方向に持っていきたいと思しますので、貴重なご意見として承ります。また今後、検討させていただきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【市長】 トイレも必要だろうとか、先ほどご意見ありましたように街中に公園も必要だろうというのは、今、松山市の計画の中で、さまざま言われるとおりです。街中に公園がほしいとかトイレも要るだろうっていうのは、まさにおっしゃるとおりですので、何回も工事ができるわけではないので、しっかりと計画を立てて税金の無駄使いにならないようにやってい

きたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

【小学生】 私たちは、タウンミーティングに備えて全校のみんなにこんな学校、こんなまちだったらいいなと思うことを聞いてみました。その中に、通学路が狭いところがあり、自転車と歩行者の通る区別がつきにくいという意見がありました。街中の歩道は自転車と歩行者が区別されているけれど、マークだけなのでよくわからないのか、みんな自由に通っています。自転車にぶつかりそうになったことがある子もいて、もっと通りがわかりやすいようにするといいと思いました。私たち小学生も、きちんとルールを守らないといけません、大人の人もみんなでルールを守るといいなと思います。また、歩道にとめてある放置自転車が、歩道を狭くしていると思います。目や体に障がいのある人にとっても歩きにくいと感じました。歩道に自転車をとめなくていいようになるといいと思います。

【都市政策課長】 どうもご意見ありがとうございます。まず、自転車のことについて。番町校区だけじゃなくて、松山市の中心部は平地ということもあって、非常に自転車が多いです。自転車は基本的に軽車両になりますので、車道の一番左側を走ることが基本になります。やっぱり見ても危ない自転車が多いです。例えば、最近では千舟町通りで車道の一番左端に自転車が通る舗装をして、わかるようにして実験を行いました。そうすると、ちゃんと自転車はそこを走って車も自転車がよくわかるということで、効果があったということもありまして、昨年8月に松山市は自転車ネットワーク計画を策定して、今後は車と自転車が走るところがわかるような形で整備を進めていくと。ただし道路を広げるのは、用地買収とかあり非常に費用がかかりますので、今ある道路の中で検討するというのが第一番目です。それとは別に、現在歩道が広いところは、例えば松山大学、愛媛大学がある平和通りの南側、北側は自転車が通れるように、わかるようにしておりますけれども、そういう広い歩道があるところは、ああいう形の整備も考えております。次に通学路の件ですけれども、通学路で狭く危ないところがあるということでしたので、この後、住宅地図で具体的な場所を教えていただけたらと思います。あと、放置自転車の件は番町地区の方はよく御存じのとおり、大街道・銀天街放置自転車禁止区域を定めて、大街道などでは降りてくださいということで、ガイドさせてもらっているんですけれども、自転車がこの近辺に置いてあるところがやっぱりあります。大街道にも松山市の駐輪場がありますし、三越のところにも駐輪場があるので、ルールを守って、マナーを守っていただくことで、障がい者の方にも配慮していただきたいと考えます。

【小学生】 つけ足しで、2年か3年のときに自転車に乗っていたときに、

自転車で花園町通りを通っていると、花園町通りに住んでいる人に、自転車を乗ってはいけない場所が定められていると。いろいろ通っている人もいるから、どうしたらいいのかと思っているんですけど、そのところ教えてください。

【都市政策課長】 花園町通りは、真ん中に路面電車が走って、車道が2車線ずつあります。その外側に副道があって、一番外側のお店との間に歩道があるので、基本的には副道を皆さん通っていただけたらと思います。歩道は、本来は歩行者の方ということで考えていただけたらと思います。今後、花園町通りは車道を1車線ずつ、右折レーンの一部とるんですけども、自転車が通るところを明確にして、歩道も確保して広げるという整備の計画を進めております。

【男性】 自転車道についてですけど、この辺は一方通行が多いんですけど、一方通行のところに白い線を引いていますよね。それが右側通行のところの右側にあるときと左側にあるときがあるんです。白い線で分けているのに、車両は一方通行だから車両にとってもおかしい結果になるんじゃないかと思うのが、その白い線が右側にある場合も左側にある場合もあるんですけど、統一を何とかできないものでしょうか。

【都市政策課長】 例えば、二番町通りがありますけども、一方通行になっています。自転車は車道の左側を一方通行ですから、二番町通りでいいますとずっと西向きに走るということでしたいただけたらと思います。

【男性】 大きい通りじゃなくて、もっとその辺の裏通りがあるでしょ。三番町通りと千舟町の裏通りとか南北の通りの一方通行ですけど、あるところは白い車線の小さいほうは歩道だと思うんですけども、それが右側にあったり左側になっている。だから右側通行なのに右側にあったり左側にあったりするわけです。

【都市政策課長】 後ほど現場を確認させていただきましますけども、多分歩道のところは非常に狭くて、一方通行のところ南北もありますけども、基本的に自転車は左側を走って、危険のないようにしていただくということで、後ほど住宅地図で確認させていただけたらと思います。

【市長】 今日、住宅地図を持ってきておりますので、我々今日3時半になったらさっと帰るわけではないので、どうぞ危険な場所とか言っていたいただけたらと思います。街中のこと、自転車のこと、自転車と歩くことについて話が出ましたので、松山市の思いについて述べさせていただきます。先ほど申し上げたとおり、花園町のもっと歩く人に配慮した、自転車に配慮したということをお願いしたんですけども、花園町のことだけでなく、中心商店街を活性化していくという思いの一つですと申し上げました。

少子高齢化っていいですが、まず少子でいうと高度経済成長の時代だったら、幅広い道路をどんどん郊外に伸ばしていくとか、下水道をどんどん郊外に伸ばしていくとかできたと思いますけども、少子ですから働いて税金を納めてくれる数がこれから少なくなっていくわけです。人口減少社会に入っていく。だから松山市としては都市を広げていくんじゃなくて、松山市内には例えば県庁も市役所も中心部にある。高島屋も三越も中心部にある。大街道、銀天街がある。全国の空き店舗率から考えたら大街道・銀天街はすごく頑張っているんです。もうすでに大街道・銀天街がなくなっていたら話は違うと思います。中心商店街がある、そして松山は路面電車が走っています。路面電車は松山の人には広島とか高知とかも走っていますから、結構当たり前になってしまっているんですが、全国の1,800市町村の中でわずか17都市しか走っていないのが路面電車なんです。100都市に1都市よりも少ない割合、路面電車があるのはものすごい宝です。高齢化の点でいうと、高齢化してくるとどうしても視力が落ちてくる、運動能力が落ちてくるということで、免許証を返納することも考えないといけない。車がないと生活できないまちだと、将来のまちの作り方は違って来るんですけど、松山は公共交通があるので、車がないと生活が全くできませんというまちではないんです。路面電車もある、郊外電車も横河原線、郡中線、高浜線とある。JRも走っている。JRが走っていない都市もありますからね。バスの路線も結構充実している。公共交通を生かしたまちづくりをしていこう。そして松山が雨がいっぱい降ります、雪が積もります、坂がいっぱいですというところだったら、歩いてください、自転車で走ってくださいとは言わなかったと思いますが、松山は晴れの日が多い、自転車に適しています、歩くのにも適しています。そして中心商店街がありますから雨が降ったとしても、大風が吹いたとしても、大街道や銀天街で買い物ができるんです。こういう宝を生かしたまちづくりをしていくことが大事ということで、花園町も歩く人に配慮した、自転車に配慮した、子どもさんはいたら子宝です。宝物です。そういう小さなお子さんはお父さん、お母さんと手をつないで歩くことあると思いますけども、自転車と歩く人が混在していたら、自転車がぶつかって大きな事故になることも報告されていますよね。やっぱり歩く人、お子さんが手を離したからいうて自転車とぶつかって何かなるような社会ではいけない。できるところは歩く人に配慮した、自転車は自転車で別のところを走るような、そういうまちづくりが必要。そして、歩くと健康になります。高齢化の中で健康長寿を伸ばしていきたいんです。歩いて健康まちづくり、病気になったら自分もしんどいです、家族もしんどいです。健康長寿を伸ばしていくために歩く

人に配慮しましょう、自転車に配慮しましょう、そしてもう一つ環境に配慮するために、みんなが公共交通を使ったまちづくりをできたらというので、今やっているわけです。郊外の大きなショッピングセンターでお買い物をするのもまたいいと思いますが、せっかく大街道・銀天街があるんですから、日々のお買い物です。1週間に1偏買い物するのもいいですけども、「今日は何が安いん」という会話ができること、それだったらつながりのある社会になっていきます。つながりがある社会だと、子育てのことも防犯のことも介護のことも助かります。そういうつながりのある社会に戻っていきたいという思いから、この中心商店街を大事にする、公共交通を生かしたまちづくりをしていくということをお話しているわけです。今、松山にはこの中心市街地はすごく宝だと思いますので、それを生かしたまちづくりをすれば、松山のまちづくりはもっとよりよいものになると思いますので、そういったことを申し上げている次第です。またご理解いただけたらと思います。

【小学生】 学校のことで一番意見が多かったのは、学校のトイレに関したことでした。意見としては、トイレが全体的に少ないので増やしてほしい。トイレが汚いのできれいにしてほしい。和式トイレを全部洋式にしてほしい。男女一緒のトイレがあるので、男女別にしてほしいというのがありました。私たちのトイレの数を調べて表にまとめました。それぞれの階にいる子どもの人数に対して全体的にトイレが少ないと思いました。また、男女共用のところは本館のトイレと体育館のトイレです。体育館のトイレは休みの日に使うので別々がいいです。また、北校舎はほとんどが和式トイレで洋式は各階に一つしかありませんでした。南校舎以外のトイレは校舎が古いので、全体的に汚いし頑張って掃除をしても匂いがします。トイレのきれいな学校になったらいいなと思います。

【市長】 私の小さなころは、小学校を思い出すと男女共用のトイレありましたけど、確かに男女が一緒だとしにくいですね。

【生涯学習政策課長】 教育委員会生涯学習政策課の津田といいます。ご意見ありがとうございます。トイレの件ですが、まず学校の校舎の耐震化を松山市教育委員会では28年度と29年度ぐらいにかけて考えております。まず西校舎からスタートして、その後、北校舎という形になろうかと思っております。その際に今いただきました意見、男女の別、洋式化を取り入れていきたいと思っております。平成22年にも一度耐震化工事をしているので、そのときには多分洋式トイレになったと思っております。今後も皆様のご意見を聞きながら、洋式化を図ってまいりたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

【小学生】 そのほかにも北校舎と南校舎が3階でつながると便利という意見がありました。無理かもしれませんが、北校舎と南校舎が3階でつながるといいなと思います。それは北校舎4階のマルチルームで学習するときに、南校舎の3階の子どももすぐ行けるからです。また北校舎3階は一学年だけが生活しているので、南校舎と北校舎がつながると北校舎の子どもも寂しくないと思います。

【生涯学習政策課長】 確かにいいですね。今のところは計画途中ですので、今言っていたいただきました意見、確かにつながれば当然屋根もつけてもらってつながれば行き来もしやすいですし、授業の効率化も図れると思いますので、問題はお金なんですけど、そのあたりもじっくり研究しながら、できるだけ皆さんの要望ができるようなイメージのものに、担当課に私から言っておきます。ありがとうございました。

【市長】 お金の話が出たので、松山市の財政っていうんだけどお金のことについてお話をします。例えば、この公民館も近々、耐震化工事が迫っています。番町小学校のこともわかりやすく言います。大きい地震があったときに、小学校が避難場所になるんです。そういう避難場所になる学校が、まだ耐震工事ができていないところがあるんです。なので、市長という立場をいただいて、これは思い切って前倒しをしようということにしました。今、校舎とか公民館という人が集まる場所は、できるだけ耐震化工事を早めています。これは大事な有効な公共工事だと思うから、前倒しをしています。でも、松山市のお財布があって、国と県と市があるでしょ。国から1,800の市や町や村に仕送りみたいにお金が来るんです。中学校で勉強すると思うんですけど、国庫支出金とか地方交付税交付金というお金が来るんです。でも今、国は1千兆円の借金を抱えています。これを日本の人口は1億人だから一人当たりどれだけの借金になるかといったら計算もできるんですけども、そうすると仕送りと同じです。大学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんが、東京とかに行くとすると仕送りするよね。もともとのお財布のところがしんどかったら、仕送りがこれから増えるとはとても考えにくいんですよ。限られたお財布の中でやらないといけないんです。松山市のお仕事は教育のこともあれば、道路のこともあれば、ごみのこともあれば、色んな分野があるのね。教育だけしよったんでもいかんでしょ。色んな分野にまたがることをしないといけないので、年によって大体使えるお金が決まってくるんです。そういうことから番町小学校も早くしてくださいという気持ちはわかるんですけども、順番をつけながらやるべきことをやるっていう形が、松山市だけではなくて全国のどこの市町村も同じような状況です。ですので、こうやってタウンミーティングを

やって、皆さんからのお声を聞いて、市役所だけで考えると間違えてしまっ  
てはいけないので、皆さんの声に耳を傾けてやるべきことはやる。お金  
がないから何もせんのじゃなくて、やるべきことはやる。後手を踏まない  
ように、皆さんの将来の世代にいい松山が引き継げるように、このタウン  
ミーティングを重ねているところです。

【生涯学習政策課長】 この建物の5階部分は福祉センターというフロア  
になっていると思うんですけど、建物でいうと番町公民館になります。先  
ほど市長からも話がありましたが、本館は耐震化の話を進めております。  
この建物に関しては、耐震化は非常に厳しい。下がピロティ形式とあって、  
ちょっと空洞になっていまして、筋違があって1階に駐車場があります。  
この大きさの建物を補強するのは非常に厳しいですから、現在、教育委員  
会が考えておりますのは建てかえです。建てかえにいたりしても、これ  
だけの立地の条件でございますので、地元の皆様のご要望をお伺いする中  
でどういう機能、本館は市で経費を出すんですけども、今のような併設が  
いいのか、それとも公民館単独の建物がいいのか、色んなお話をさせてい  
ただいておるところです。年度でいいますと、平成28年度に着工できる  
か。ですから26年、27年度ぐらいから地元の皆様のご意見をお伺いす  
る形になります。この規模で仮につくるなら大きな額、4億、5億の世界  
になろうかと思いますが、どういう方法でできるのか、これからじっくり  
考えていく中で研究させてもらいますので、どうかよろしく願いいたし  
ます。

【市長】 番町小学校も近々耐震化ですよ。

【生涯学習政策課長】 番町小学校も確か28年度から耐震化工事に入ろ  
うかと思っております。

【市長】 番町小学校にしても番町公民館にしても、近々耐震工事が入り  
ますからきれいになります。もうちょっと待っていてください。

【小学生】 まちに関しては、次のような意見が出てきました。一番多か  
ったのは、カラスが多くて糞が道路にたくさん落ちているという意見でし  
た。特に学校の周辺で汚いのは、体育館の近くの交差点です。こちらの写  
真を見たらわかるように、通る人が嫌がって道路に出てしまったら事故に  
なる可能性があります。なので、カラスがとまらないようにしたり電線を  
のけたたらいいなと思います。また、お酒に酔った人やホームレスの人が  
朝、学校に行くときにいるという意見がありました。朝、繁華街の近くを  
通って学校に来る途中に、お酒に酔った人が寝ていたり騒いでいたりする  
ことがあるそうです。酔った人やホームレス風の人から声をかけられて不  
安だったという子もいました。朝の登校時間にそんな人がいないように巡

回をしてくれるといいなと思いました。

【清掃課長】 環境部清掃課の松本でございます。日ごろからごみの分別とごみの集積場所の管理等々で、いつもお世話になっております。ありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思えます。カラスですけれども、やっぱり今の時期多いです。渡り鳥でミヤマガラスという種類になりますが、この時期大量にやってきて、松山城がねぐらになっていまして、主に夕方のねぐらに帰る前の時間帯に、市内の建物とか電線にとまって休憩して、そのときに糞害が発生しています。毎年10月ごろにやってきて、3月ごろまでには去っていく傾向が続いています。糞の対策ですけれども、主に冬場のカラスが群れて行動する時期に、電線など高いところから糞をするということで、道路が汚れて衛生上好ましくない状態になっておりますが、電線は四国電力とかN T Tにご協力をいただいで、カラスがとまらないような対策をしていただくことができます。環境事業推進課が一応カラスの窓口になっておりますので、またご相談いただければ、そちらに取り次ぐこともできますのでよろしくお願ひします。

【市長】 電線見てもらったら気づくことがあるかもしれせんけれども、N T Tや四国電力に言うのと、とげとげみたいになっていて、カラスがとまれないようになっているところがあります。ああいうことをやってくれて、カラスがとまれんようにすることができるそうです。

【清掃課長】 駆除については、カラスも野鳥の一種になりますので法律があります。鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律という趣旨から、農作物に被害を及ぼしている場合とか、人に危害を加える場合、そういった実害が出ない限りはむやみに駆除、捕獲することができません。特に中心市街地における捕獲、駆除になりますと、市民の安全上の問題などもありまして、非常に難しい状況です。ほかの都市でもカラスの捕獲等を行った事例はあるんですけれども、一時的には個体数が減ることはあるんですが、カラスの個体数は食料の量で決まりますので、その後にもた増加するという結果になっているようです。なお、ほかの市におけるカラス対策の調査も行っているんですけれども、どの自治体でもごみ集積場所などにおける部分的な対策はあるんですが、広域的な効果を上げている取り組みはなく、対応に苦慮しているのが、ほかの市も同じような現状になっています。担当課では、今後も他市の状況や新たな効果のある対策など情報を収集しておりまして、日本野鳥の会愛媛との連携も図って、引き続き研究をしていきたいと思っておりますので、抜本的なこれをすればすぐよくなるということがないのが実情です。ご意見ありがとうございました。

【市長】 もし御存じの方がいらっしやったら教えていただきたいんです

が、松山市としても何とかしたいんです。カラスが来るのはよく見ておりますし、松山市としても何とかしたいんですが、まず食料を断つこと。飲食店が松山市内中心部にはありますけれども、飲食店の方が、例えばポリ袋でごみを出してしまうとつつかれます。ポリタンクとかカラスの目に触れない、カラスが悪さをできないところにちゃんとごみを出してくれたら、それは一つハードルがかかるわけですが、どうなんでしょう。やっぱり現状としてそのままビニール袋で出してしまうみたいなことがあるんですかね。

【男性】 バケツを集積所へ持っていくと、それを今度持って帰らないかん。結局、皆さん朝出かけるときに置いて、そのまま出かけるでしょ。朝9時ごろバケツを取りに来て移して帰っても、そのバケツは夜に捨てた人が取りに来るまであるわけ。それだったら、置き場所に市がこの中へ入れてくださいという頑丈な入れ物をつくって置かないと、勝手に住民がやると占有物になるでしょ。

【市長】 例えば、カラスがいたずらできないであろう、頑丈なところを各所に設けることができたらいいのではないかということですかね。松山市内のホテルに泊まりたいという方もいらっしゃるんで、朝目覚めて街中歩いたところにカラスがいっぱいおるとか、カラスの糞があるというのは避けたいので、松山市としてもきれいにしたいと思っているんですけれども、ちょっとまた研究させていただきましょう。

【男性】 夜中でもカラスが飛びよるんですよ。真っ黒になるぐらい。北九州のほうでカラスの駆除をやりよんのが、女子大生の女の子がたまたま鷹を飼いよって、その鷹を3回ぐらい飛ばしたら全部いなくなった。猛禽類のフクロウの姿を見た段階で全部逃げていっておらんかったと。それを3回ぐらいやると、その地区からはいなくなったというのをテレビでやりよりました。

【市長】 なるほど。松山市の中でごみの収集場所にネットをかけるとか、ポリタンクのことともさまざま研究をさせていただいているところですが、猛禽類の鷹のことも含めて研究をさせていただいたらと思います。持ち帰らせていただいたらと思います。

【都市政策課長】 先ほどの質問で、ホームレスの件と電線類の地中化が出ておりましたので、電線類の地中化についてまずお答えをさせていただきます。二番町通りの大街道から番町小学校の北側、西へ行くと市役所の二番町の立体駐車場がありますけれども、大街道から国道のところまでは現在、電線類の地中化の工事をもうすでに始めております。実はちょっと時間がかかりまして、大きな共同溝、大きな管を入れるとか、水路の改修

とかがありまして、今の予定では平成28年度までには今回の電線の地中化を終わりたいということで、松山市都市整備部の道路建設課が工事をしております。工事が終わってからでないと、今ある電柱は取り外しができませんので、それまでしばらくお待ちいただけたらと思います。

【市長】 これはN T Tがやることですよ。電線の地中化。

【都市政策課長】 工事の事業主体としては松山市で行っておりまして、四国電力やN T Tと協議して、協力して進めております。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課高橋です。よろしくお願いします。ホームレスについてですが、どこにいますとか見かけるとかわかりましたら、このタウンミーティングが終わりましたら、詳しい状況等教えていただけたらと思います。ホームレスの人に対しては、その人のいる場所を管理しているところとか、警察などの関係機関と連携して定期的に調査をしています。それと市役所に情報をいただいた際にも、生活福祉課の職員が現場に行き調査をしています。その際にホームレスの人と直接面談しまして、生活状況も聞き取りして、例えば生活保護の手続きの説明をしたり、場合によっては松山市がアパートを借り上げていますので、民間のアパートへ一時的に住んでもらったりもしております。ただし、ホームレスの方が支援を断る場合があります。そういう場合もあるんですが、粘り強く支援を続けていますのでご理解していただけたらと思います。

【市長】 市役所の前の地下のところにもホームレスの方がおいでたりしますけれども、寒いでしょう、固いですよね。冷たいと思いますよね。だからお話をして、ここで過ごすよりは市が借りているところもあるので、そういうところに移りませんかというお話をするんだけど、もう構わんとってくれという方もおいでるんですよ。生活保護は自分から申請してもらわないといけないんです。なので、なかなかすぐにはのいてもらえないというところがあるんですけども、人対人ですから、お話を続けることによって心を動かしてもらえることもあると思いますので、粘り強く交渉をしていこうと思っています。

【女性】 県外の人から頼まれていることですが、この間、不幸ごとがあって斎場に行ったんです。そしたらトイレから出てきたら、みんなこんな感じで歩いているんですよ。どうしたんですかって言ったら、葬儀場は全部トイレから出てきたら紙とかエアがあるんです。けれど斎場にはないんです。どこか見落としているんじゃないかと思って、私探してみたんですけどないんです。紙で拭いて、紙で捨てたらごみになりますから、エアでもあったら助かるから、今度タウンミーティングで市長さんにお会いするから言っときますって言ったんです。できたら、予算が取れたらお願い

いたします。

【市長】 食場の火葬場のところですか。わかりました。

【保健福祉政策課長】 現場へ行かさせていただいて、どういう状況になっているのかを確認させていただいて、それから具体的に対応を検討したいと思います。

【小学生】 まち全体で季節の行事を開く、まちで花いっぱい運動に取り組むなど、番町地区に住むみんなが一体となって取り組む楽しい行事があるといいなという意見もありました。今も、番町公民館がしてくれているサマーカーニバルやみこしパレードや城山サーキットなどの、私たちが楽しく参加できる行事がありますが、季節の行事があるといいなと思います。花いっぱい運動は、季節ごとに番町のまちに同じ花がいろいろなところに咲いていたら、まちが一つになったような気がしていいなと思います。

【市長】 ありがとうございます。おじさんはお城の北の清水小学校の入学卒業です。お城の北からこっち側に来るときは、まちに行くいうてすっごい楽しみな華やかな場所ですね、そういう場所をまた取り戻していけたらなと思っています。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。ご意見ありがとうございます。番町地区、番町小学校も含めて花いっぱいにしていきたいというご意見だと思います。松山市では公園緑地課が城山公園とか総合公園も管理しているんですけども、花いっぱい運動の趣旨にあった生け垣や庭木などの奨励する事業、あるいは地域の花壇やプランターでの花いっぱい運動で、補助金を出して進めるようにしております。具体的には「緑のまちづくり奨励金制度」というのがありまして、公園緑地課に問い合わせをしていただくか、ホームページにも出ております。その公園緑地課所管で、市内の小中学校を対象とした学校花壇コンクールもしております、現在90校くらいが参加していただいております、この学校の近くでは清水小学校とか味酒小学校が平成25年度に優秀賞をもらっています。地域の方々が花壇を試みたり、花を植えるというコミュニティー花壇は一定の補助金、花の種については無料でお配りする制度もありますので、ぜひ公園緑地課にお問い合わせを願えたらと思います。

【市長】 今、申し上げたとおり皆さんのお家で生け垣や庭木などする場合にも補助金があります。地域の花壇やプランターでの花いっぱい運動でも補助金が出ますので、ご相談をいただいたらと思います。こういう「緑のまちづくり奨励金制度」があります。補助金ってわかるかな。例えば、お風呂の残り湯があるでしょう。そのお風呂の残り湯を、洗濯機に使ってもらうと節水になるよね。だから松山市ではお風呂の残りの水を洗濯機に

するときのポンプを買うときに補助をしているんです。これはまちにとっていいことだと思ったら、そういう補助金を出すことにしています。ホームページでも見られますから、また見てもらったと思います。よろしくお願いします。

**【男性】** ちょっと誤解があったらいけませんので、先ほど申し上げました公園化について補足したいんですが、私は商店街の者ですけれども、自分たちの商売のためだけとか商店街の活性化のためというスタンスで申し上げたんじゃないんです。道路はいっぱいありますけれども、例えば大街道は、ほかの道路には全くない条件がいろいろ整っているわけです。あれだけのスペースを単に道路だけに使ったらもったいないじゃないかと。空間がすっきりしてきれいじゃないかと言われるかもしれませんが、市民の方がこの中心地へ集まってくるとか、周辺の住民が仮に出てきたときに、この地区では憩う場所がありません。例えばショッピングセンターへ行くと、いろいろあるんですけれども、今の商店街の中は歩くための道路なんです。狭いとしょうがないけど、あれだけの広いところを人が歩くためのだけに使うのは、これはもったいなさすぎる。まちの人が出てきたときに、買い物するためじゃないと今は来ませんから、通るだけです。だから買物をしなくても、まちへ出てきたらそこで人も見れるし、自分も見られるという刺激もありますし、情報交換もできる、コミュニケーションの場にもなると、これはあらゆる点から考えてコミュニケーションの広場だと考えていただければ、買物のためだけじゃなくて、ちょっと行ってあそこでのんびりしよか、通る人も見ようか、色んな世の中の動きもみようかと、知った人とちょっと親しくお話もしろうかと、そういう意味での一つの憩いの場、あるいは賑わいの場にせんともったいないじゃないかというのが発想でございますので、よろしくご検討いただきたいと思います。

**【都市政策課長】** ご意見どうもありがとうございます。検討させていただきます。

**【女性】** 東中PTAです。商店街が悪いとは思わないんですけど、まちの振興にもかかわってくるんですけど、パチンコ屋とカラオケ屋とゲームセンターの面積が広いなといつも気になるんです。一番町から入ったらパチンコ屋、カラオケ屋、二番町過ぎてもやっぱりパチンコ屋カラオケ屋。三番町過ぎてもやっぱりパチンコ屋カラオケ屋みたいになっているんですけど、その広いスペースは土地を持ってらっしゃる方がいるんで、どうしようもないかもしれないんですけど、例えば県の図書館はうちの子どもがテスト前だけですけど、勉強しに行くのと、もう9時40分から並んでい

て場所もとれなかつたりするのを聞くんです。市の図書館はコミセンですけど自習スペースがない。あと青少年センターに行ってみたりコムズに行ってみたりするんですけど、テスト前だけだと思うんですけど、学生で結構混んでいるみたいです。県の図書館にうちの子はよく行くんですけど、たまに私も行くと暗くて、そこでお弁当とか持っていくと、何かえらいどんよりしたところで食べているみたいで、どうなのかなと思って、街中には「てくるん」があるんで、学生が使えるようなのがあって、少子化となっているんで、子どもたちが使うスペースがあってもどうしようもないかもしれないんですけど、子どもたちが学校の帰りにでも寄って勉強できたり、本も置いてあったり、ちょっと休めたりするのがあればいいのかなと思ったりしたことはあります。そういうスペースばかり面積占めずに、そういうこれくらいの建物が建つんじゃないかなとまちを歩いて思うことがあります。

【都市ブランド戦略課長】 産業経済部の都市ブランド戦略課長の矢野でございます。ご意見ありがとうございます。商店街のパチンコ、カラオケとかゲームセンターなどの構成は、先ほどおっしゃられましたように、やはりそれぞれの方の経営があると思います。ただ、広域集客商業活性化戦略というものも立てて、中央商店街の活性化に向けた対応を図っているところであります。商店街組合の方々と一緒に商業の在り方、この地域の商店の魅力づくりを考えているところでありますので、これからも商店街の皆さん住民の方とも協議をさせていただく中で、できることを考えていきたいと思っています。それから「てくるん」のお話をいただきましたけれども、おかげさまで昨年の12月末現在で16万人のご来館をいただいております。ですので、そういったご利用いただく方の中に、おっしゃられるような学生さんが勉強できるスペースは現状では難しいかと思っておりますけれども、今後そうしたご意見を踏まえさせていただいて、考えていきたいと思っております。

【市長】 声を上げていただきありがとうございます。実は「てくるん」は私がつくりたいと思っていた施設で、御存じのように私は前の仕事、アナウンサーを20年させていただいて、体の不自由な方が商店街で買い物するんですけど、なかなか多目的トイレがない。オフィスも近くにありませんから、オフィスで働く方の保育所ができれば、そして買い物のときに小さいお子さんがそばにおると買い物も集中できないだろうから、一時的に託児ができれば、そしてイベントスペースもあるといいだろう。そんな思いから、いくつかの皆さんの要望を満たすものとして「てくるん」をオープンさせていただきました。おかげで多くの方にご利用いただきありが

たいんですけども、これからも皆さんの声に耳を傾けていきながら、確かに財政的に厳しいんですけども、さっき申し上げたようにそれで思考停止にするんじゃないくて、知恵と工夫で、今、何をつくるべきかを考えながらやっていきたいと思っています。11月に下関に出張に行ったときに、まちの真ん中にそういう図書館、自習スペースみたいなのがあったんです。いいなと思いました。今後、検討させていただきたいと思います。最後になりますけども、このようなタウンミーティングは市政を運営していく上で、基本中の基本だと思います。皆さんの声をいただいて、そして判断させていただくのが基本中の基本だと思いますので、これからも続けさせていただきたいと思いますし、皆さん市役所の敷居を高くしないようお願いします。ほんとに近くですから、遠慮なく来ていただきたいと思いますし、「どうせ市役所に言うたって、変わりゃせんわい」じゃなくて、言っていたら「ちょっとこの方法はできないんですけども、こういう方法だったらできるんですよ」って別のことをお伝えすることもできますし、私どもは市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃないといかんと思っていますので、これからも遠慮なくさまざま声を出していただけたら、教えていただけたらと思っています。今日は休日のおくつろぎのところ、お子さんも含めて多数の方にご参加いただきましてありがとうございます。この後、住宅地図を持ってきておりますので、道路で危ないところとか気になるところありましたら、遠慮なく伝えていただけたらと思います。花園町のことにしてもしかり、またごみのカラスのことにしてもしかり、そして自転車のこともしかり、これからもいい方向性を見つけて、さまざま皆さんと話をしていきたいと思っています。自転車のこともさまざま意見があって、なかなかまとまりにくい現状があるんですけども、だからといって終わりじゃなくて、何かいい解決方法があるんじゃないか。松山だからできることもあるんじゃないかと思って、これからも進めていきたいと思いますので、これからも皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

— 了 —